

つながる遺伝研

国立遺伝学研究所

オンライン
公開講演会
2025

2025年

11月15日(土) 13:00~16:30

開催時間

■オンライン講演会

「貝殻は固くて重い。で、どうなる？」 近藤 滋 (所長)

「がん研究のカギを握る「環状 DNA」とは？」 佐々木 真理子 (准教授・遺伝子量生物学研究室)

「速い進化がもたらす生物の数の変化」 山道 真人 (准教授・理論生態進化研究室)

■研究者とオンラインで語ろう

気になる研究室を選んで、研究者とトークができます。

■大学院紹介 遺伝研(総合研究大学院大学 遺伝学コース)についてご紹介。

●対象：一般、中高校生、高専生、大学生、大学院生、科学や遺伝学に興味のある方。

参加
無料



大学共同利用機関法人 情報・システム研究機構
国立遺伝学研究所

〒411-8540 静岡県三島市谷田1111

S O K E N D A I

お申し込みはこちらの「お申し込みフォーム」から



スケジュール

Zoomによる開催



11月15日(土) 13:00~16:30

国立遺伝学研究所

オンライン
公開講演会
2025

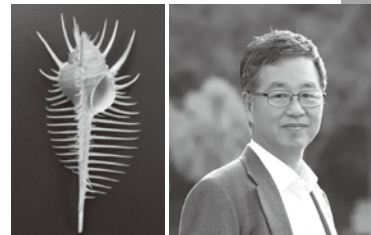
第1部 オンライン講演会 13:00~15:00

■所長講演

「貝殻は固くて重い。で、どうなる？」

近藤 滋 (所長・国立遺伝学研究所)

地球上に現存する生物は、実に様々な形をしています。例えば、こんな貝殻。この奇妙な形。どうやってできたか？そして、なんの意味があるのか？実は、この「形」を詳しく調べるだけで、それらの謎の答えが解るのです。講演会では、その答えをお話しますが、その前に、ご自分で答えを探してみると、楽しさも何倍かになります。ヒントは「貝殻は固くて重い」です。



■講演 1

「がん研究のカギを握る「環状DNA」とは？」

佐々木 真理子 (准教授・遺伝子量生物学研究室)

がんは日本人の死因トップで、誰もが関わる身近な病気です。最近、ヒトの細胞に存在する「環状DNA」が、がんに関わっていることがわかってきました。私たちは、この環状DNAがどうやって作られ、細胞の中でどんな役割を果たすのかを探ることで、がんの新しい予防や治療の道が開けると期待しています。



■講演 2

「速い進化をもたらす生物の数の変化」

山道 真人 (准教授・理論生態進化研究室)

進化は長い時間をかけてゆっくり起こるという印象を持っている人が多いかもしれませんが、しかし近年、進化が短期間で素早く起こること、そのような迅速な進化によって生き物の数が大きく変化することがわかってきました。迅速な進化によって絶滅が回避されたり、多様な種が共存したり、といった、進化と個体数変動についての研究を紹介します。



■大学院紹介 木村 暁 (教授・細胞建築研究室)

第2部 研究者とオンラインで語ろう 15:00~16:30

気になる研究室を選んで、研究者とトークができます。

つながる遺伝研

お申し込み

お申し込みは右記QR「お申し込みフォーム」から

- 本イベントで使用される講演内容、スライド、研究発表のポスターなどにつきましては、録画・ダウンロード・画面キャプチャなどはご遠慮いただきますようお願いいたします。

